

■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 中納言、帝に御文を聞こえ給ふ。
- ② 大臣、姫君に琴の手を教へ聞こえ給ふ。
- ③ 女御、帝に思ふことを申し給ふ。
- ④ 翁、宮に珍しき玉を奉り給ふ。
- ⑤ 上達部、院に御消息を聞こえさせ給ふ。
- ⑥ 母君、若君を抱きかかへ参らせ給ふ。
- ⑦ 大納言、帝にこのよしを奏し給ふ。
- ⑧ 右大臣、東宮に書を奉り給ふ。
- ⑨ さて、帝、御几帳の内にて物せさせ給ふ。
- ⑩ 院、その夜つひに失せさせ給ふ。
- ⑪ 大将、内裏に参り給ひて、帝に近う候ひ給ふ。
- ⑫ 后、上に御琴を弾き聞かせ奉り給ふ。
- ⑬ かの僧都、帝に法を説き聞こえ給ふ。
- ⑭ 臣下、上皇に御琴をたてまつり給ふ。
- ⑮ 中宮、帝に御返り事を聞こえさせ給ふ。
- ⑯ 帝、夜もすがら御念誦せさせ給ふ。

■ 設問 (全25問)

1. ①「中納言、帝に御文を聞こえ給ふ。」を現代語訳せよ。
2. 傍線部「聞こえ給ふ」(①)を敬語の種類に分解し、どの部分が謙讓語でどの部分が尊敬語かを答えよ。
3. ①「聞こえ給ふ」の謙讓語の部分は、誰から誰への敬意を表すか。動作の受け手を明らかにして答えよ。
4. ①「聞こえ給ふ」の尊敬語の部分は、誰への敬意か。動作主を答えよ。
5. 傍線部「教へ聞こえ給ふ」(②)について、次の問いに答えよ。
謙讓語にあたる部分を抜き出せ。
尊敬語にあたる部分を抜き出せ。
6. 傍線部「申し給ふ」(③)を、謙讓語の部分と尊敬語の部分に分けて答えよ。
7. ③「申し給ふ」の謙讓語の部分は、誰への敬意か。動作の受け手を答えよ。
8. ③「申し給ふ」の尊敬語の部分は、誰への敬意か。動作主を答えよ。
9. ④「翁、宮に珍しき玉を奉り給ふ。」を現代語訳せよ。
10. 傍線部「奉り給ふ」(④)について、謙讓語の部分と尊敬語の部分をそれぞれ答えよ。
11. ④「奉り給ふ」の謙讓語の部分は、誰への敬意か。動作の受け手を答えよ。

12. ⑧「奉り給ふ」について、謙讓語は誰への敬意か（受け手）、尊敬語は誰への敬意か（動作主）を、それぞれ答えよ。
13. ⑤「上達部、院に御消息を聞こえさせ給ふ。」を現代語訳せよ。
14. 傍線部「聞こえさせ給ふ」（⑤）を敬語の種類に分解し、謙讓語・尊敬語のそれぞれを答えよ。
15. ⑤「聞こえさせ給ふ」の謙讓語の部分は、誰への敬意か。動作の受け手を答えよ。
16. ⑤「聞こえさせ給ふ」の尊敬語の部分は、誰への敬意か。動作主を答えよ。
17. 傍線部「抱きかかへ参らせ給ふ」（⑥）の「参らせ」「給ふ」は、それぞれ謙讓語・尊敬語のどちらか答えよ。
18. ⑦「大納言、帝にこのよしを奏し給ふ。」を現代語訳せよ。なお「奏す」の敬語の種類にも触れること。
19. 傍線部「物せさせ給ふ」（⑨）と、⑤「聞こえさせ給ふ」とでは、敬語の構造がどう違うか。二方向の敬語と最高敬語（二重尊敬）の違いに触れて説明せよ。
20. 傍線部「失せさせ給ふ」（⑩）は二方向の敬語か、最高敬語（二重尊敬）か。理由とともに答えよ。
21. ⑪「参り給ひて」「候ひ給ふ」について、それぞれ謙讓語の部分が誰への敬意（受け手）かを答えよ。
22. 傍線部「弾き聞かせ奉り給ふ」（⑫）について、次の問いに答えよ。
 - 謙讓語にあたる部分を抜き出せ。
 - 尊敬語にあたる部分を抜き出せ。
 - 謙讓語は誰への敬意か（受け手）を答えよ。
23. ⑬「説き聞こえ給ふ」の謙讓語「聞こえ」は、誰への敬意か（受け手）。また尊敬語「給ふ」は誰への敬意か（動作主）を答えよ。
24. 二方向の敬語の語順は原則として「謙讓語＋尊敬語」「尊敬語＋謙讓語」のどちらか。正しい方を答え、なぜその順になるのかを一文で説明せよ。（記述）
25. 「二方向の敬語」と「最高敬語（二重尊敬）」は、敬意を向ける相手の数という点でどう異なるか。五十字程度で説明せよ。（記述）